

バーモントカップ第20回全日本少年フットサル大会 和歌山県大会要項

- 1 主催 財団法人 日本サッカー協会
- 2 特別協賛 ハウス食品株式会社
- 3 主管 社団法人 和歌山県サッカー協会 フットサル委員会
- 4 日時 平成22年10月16日(土)予選リーグ・17日(日)決勝トーナメント
- 5 会場 田辺市 龍神ドーム (0739-78-0692) 田辺市龍神村柳瀬1469-1

- 6 参加資格 小学6年生以下の選手により構成されたチームであること。
チームで、成人の引率者がチーム指導・責任を負うことができる者が必ずいること。
チームの責任に於いてスポーツ傷害保険に加入していること。
(財)日本サッカー協会のフットサル個人登録と本大会フットサル登録を行ったチームである事。
フットサル個人登録の仮選手証、写真の貼っていないものでの出場は認めません。
(財)日本サッカー協会フットサル大会登録票に登録し得る人数は20名を上限とする
(財)日本サッカー協会「フットサル競技規則」を熟知していること。
本大会はオープン参加の為、4種サッカーチーム・選手の登録は一切関係ないものとする。

- 7 参加費 10,000円(当日大会登録票提出時に徴収する)

- 8 競技規定 平成22年度 財団法人日本サッカー協会『フットサル競技規定』による。
本大会中に退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会の規律委員会にて決定する。
本大会中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
競技時間は、予選リーグ8分・1分・8分・決勝トーナメント12分・3分・12分のランニングタイムとする。本年度は下位トーナメントも実施する。
ピッチは室内カーペット 38m×18m
フットサル用ボールを使用する。
靴はフットサルシューズまたは、靴底がフラットで色または白色である事。
イボイボのついたトレシューやサッカースパイクでの出場を認めない。
レガース(シンガード)は必ず着用すること。
決勝トーナメントにおいて同点の場合は、5人でのPK戦にて勝敗を決める。決勝戦のみ3分ハーフの延長戦を行う。延長でも勝敗が決まらない場合は5人でのPK戦を行う。
本年度よりフットサル競技規則、第11条ファールと不正行為・第16条ゴールクリアランスに変更がありましたので本大会より適用します。
不測の事情が生じた場合は、本大会の規律・フェアプレー委員会にて裁定し決定する。

- 9 競技方法 出場40チームを4チーム1ブロックで、10ブロックに分けリーグ戦をし、各ブロック1位チームが決勝トーナメント進出。優勝チームは全国大会に出場する義務を負うものとする。
予選リーグの順位 勝ち3点>引き分け1点>負け0点 尚、勝ち点と同じであれば
得失点差>総得点>当該チームの対戦成績>抽選により順位を決定する。

- 10 その他 :フットサル選手証は大会登録票とともに提出すること。
:自チームの前試合のハーフタイムにユニホームチェックを所定の場所にて受けること。
:ユニホーム正・副/メンバー表を持参すること。
:ユニホーム(シャツ・パンツ・ストッキング)は、正・副の2着用意し、本大会登録票に記載されたものを携帯すること。異なる色のユニホームを持参すること。(GKも同じ)
:パワープレーにおいては、GKと同じユニホームでその選手固有の番号でなければならない。
:審判と同一または類似のユニホームを用いることはできない。(GKも同じ)
:背番号は大会登録票に記載されたものを原則とし、変更は認めない。
:各チームは登録しているユニホームの色と異なるピンスを7枚用意すること。
:GKの負傷等が生じた場合、予備GKが登録されていない場合に限り、他の選手がGKに入る場合登録されていないGKのユニホームを使用することを主審の判断で認める。
:ユニホーム広告規程を適用する。申請してある場合はその写しを必ず持参すること。
:ベンチ入りの数は、メンバー提出用紙に記載された12名の選手、役員3名以内とする。
:それ以外の人はピッチに入れず。(監督は必ずベンチに入ること)
:本大会のメンバー変更、追加は認められない。
:所定の場所以外ではボールを使用しないこと。
:水以外の飲み物はピッチ内に持ち込まない。また所定の場所で飲水すること。
:ゴミはチームで責任を持って持ち帰りすること。
:使用施設の器具、備品等を破損した場合は、当該チームで弁済すること。
:上記記載事項に違反し、その他の不都合な行為のあったときはそのチームの出場を停止する。
:選手役員、観客等にケガ等が発生しても主催、主管等に責任はないものとする。
:上記以外に不測が生じた場合は、(社)和歌山県サッカー協会フットサル委員会にて決定する。